

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6			
	②	職員の配置数は適切であるか。	2	4		常時、常勤換算で3.0人以上の職員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	4	2		危険回避のため死角をなくす等の配慮をしている。日常生活力を上げてもらうため、あえてバリアフリーにしている場所もある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	1	より徹底した清掃、消毒をしていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	1	十分にできていない。時間を設けて取り組む。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	3	3		今回、初めて実施した。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	2	3	1	今回、初めて実施した。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者機関による評価は受けていないが、第三者委員を選任して年1回評価してもらう体制を取っている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	3	1	2	十分にできていないため、内容、時間など改善して取り組む。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	2		アセスメントバッテリーなどまでは導入できていないため、今後、導入を図る。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4	2		アセスメントバッテリーなどまでは導入できていないため、今後、導入を図る。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	3	3		具体的な支援方法については、職員間でより共有していく必要がある。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3		中心になる職員を選任して取り組み始めている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	1	中心になる職員を選任して取り組み始めている。

	⑩	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	5	1		
	⑪	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5	1		シフトで早番、遅番があるため、支援終了後の振り返りは十分でない。
	⑫	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	1	前項が十分でないため、支援前の打ち合わせを丁寧におこなっている。
	⑬	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2		より一層丁寧におこなっていく。
	⑭	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	3	3		新規事業所のため、モニタリング対象者はいないが、体制はできている。
関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5	1		
	⑯	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	3	3		
	⑰	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	3	3		対象者はいないが、連携作りの準備はできている。
	⑱	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	2	2	2	対象者はいないが、体制作りの準備はできている。
	⑲	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		必要に応じて会議等に参加している。
	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		学校の指導計画をいただく等の連携はできている。
	㉑	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4	2		必要に応じて連携会議等に参加している。
	㉒	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2		4	実施できていないため、方法を探っていく。
	㉓	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2	2	コロナ禍で延期されている。
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
		㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	1	5	
	㉖	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	㉗	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	1		

保護者への説明責任	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	1	1	連絡帳や電話で必要に応じて対応している。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	1	1	4	実施していないが、要望がある保護者もあるため、開催の検討をしていく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		可能な範囲になってしまうが、対応している。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	2	年4回の会報を「こどもの森」とともに発行している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	2	4		パソコン等で管理している情報はクラウドなどでの管理までできていない。今後、検討する。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	3	コロナ禍で機会がないが、計画している。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		3	必要なマニュアルは全て整備しているが、周知が徹底できていない。共有を図る。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	1	4	備品すべてが揃っていなかったため、しっかり実施できていなかった。定期的に実施していく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	1	指示書が必要な児童の利用はないが、アレルギーの有無は確認している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	4	1	1	実施しているが、今後、一層丁寧に共有を図る。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3		十分ではないため、虐待防止委員会を中心にしっかりおこなっていく。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2		対象となる児童はいないが、適切な手順で対応する準備はできている。